

4 規則第9条第1項の届出書の様式

伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採の始期の30~90日
前に届ける

令和4年 4月 1日

古殿町長 殿

住 所 福島県〇〇町〇〇

(伐採する者) 届出人 氏名 株式会社〇〇林業
代表取締役 〇〇 〇〇

伐採をする者と森林所
有者が異なる場合は連
名で届ける

住 所 福島県石川郡古殿町大字松川字新桑原 31

(森林所有者) 届出人 氏名 古殿 太郎

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

本伐採は届出者のうち(株)〇〇林業が所有する立木を伐採するものです。

伐採する地番をすべて
記載する

1 森林の所在場所

市	古殿	町						
			大字	〇〇	字	△△	地番	123-1、123-2
郡		村						

2 伐採及び伐採後の造林の計画

別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

3 備考

--

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。
- 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

(別添)

伐採計画書

伐採する者が届け出る

住所 福島県〇〇町〇〇

届出人 氏名 株式会社〇〇林業
代表取締役 〇〇 〇〇

伐採する地番の合計面積を記載
(小数点第3位を四捨五入して
第2位止め)

伐採の期間が1年を超える
場合は年次別に記載

1 伐採の計画

伐採面積	3.00ha(うち令和4年度人工林2.00ha、令和5年度人林1.00ha)		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100%
作業委託先			
伐採樹種	スギ		
伐採齢	50(45~60)		
伐採の期間	令和4年5月9日 ~ 令和5年6月15日		
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員 3 m ・ 延長 450 m		

伐採の始期が届出日の
30~90日以降

2 備考

注意事項

- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。

(別添)

造 林 計 画 書

造林の義務は森林所有者となる

住 所 福島県石川郡古殿町大字松川字新桑原 31

届出人 氏名 古殿 太郎

主伐面積と一致する

1 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A + B + C + D)	3.00 ha
人工造林による面積 (A + B)	3.00 ha
植栽による面積 (A)	3.00 ha
人工播種による面積 (B)	ha
天然更新による面積 (C + D)	ha
ぼう芽更新による面積 (C)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他 ()・なし
天然下種更新による面積 (D)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他 ()・なし

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作 業委託先	鳥獣害対策
人 工 造 林 (植栽・人工播種)	令和6年4月1日 ～ 令和7年5月31日	スギ	3.00ha	9,000本	(株)〇〇 林業	
天 然 更 新 (ぼう芽更新・ 天然下種更新)						
5年後において 適確な更新が なされない場合						

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

2 備考

注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において
 - ・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林 又は
 - ・木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 3 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 4 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 5 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 6 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

6の2 規則第14条の2の報告書の様式

伐採の期間の末日から
30日以内に届け出る

伐採に係る森林の状況報告書

令和5年7月3日

古殿町長 殿

住所 福島県石川郡古殿町大字松川字新桑原 31

報告者 氏名 古殿 太郎

令和4年4月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

伐採する地番をすべて
記載する

1 森林の所在場所

市	古殿町	大字	〇〇	字	△△	地番	123-1、123-2
郡	村						

伐採の期間が1年を超える
場合は年次別に記載

2 伐採の実施状況

伐採面積	3.00ha(うち令和4年度人工林2.00ha、令和5年度人林1.00ha)		
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	100%
森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無	有・無		
作業委託先	株式会社〇〇林業		
伐採樹種	スギ		
伐採齢	50(45~60)		
伐採の期間	令和4年5月9日 ~ 令和5年6月15日		
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材路の幅員・延長	幅員 3 m ・ 延長 450 m		

3 備考

--

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多い

ものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○～○)」のように記載すること。

造林の期間の末日から
30日以内に届け出る

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

令和7年 6月 8日

古殿町長 殿

住所 福島県石川郡古殿町大字松川字新桑原 31

報告者 氏名 古殿 一郎

令和4年4月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

伐採する地番をすべて
記載する

1 森林の所在場所

市	古殿町	町	大字	〇〇	字	△△	地番	123-1、123-2
郡		村						

2 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林	植栽	令和6年 4月1日 ～ 令和7年 5月31日	スギ	3.00ha	9,000本	(株)〇〇 林業	
天然更新				ha	本		

3 備考

令和5年3月1日に古殿太郎から相続

相続等により届出書と異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載する。

注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

(別添の例1)

造林地の写真
(撮影日：令和〇年〇月〇日)

造林地全体の遠景
(数枚)

更新樹種の生育状況(高さ
や成立本数)がわかる近景
(代表的な更新樹種がわ
かる近接写真を含む)
(数枚)

(別添の例2)

更新状況チェックリスト
(確認日：令和〇年〇月〇日)

- 更新樹種の稚樹の樹高が周囲の競合植物の草丈を十分上回っている。
- 更新樹種の稚樹の本数が半径〇mの円内に〇本以上生育している。
- 伐採跡地が全体的に更新されている。

-

-

② 搬出計画図（例）

